

大阪府大阪市

活動名

依羅小学校「いきいき」活動

関係する学校

依羅小学校

※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）

| 活動区分 | コーディネーター | 子供の平均参加人数 | 開始年度 | 国庫補助 | 学習支援 | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 |
|------------|--------------|-----------|--------|------|------|--------------|------------|
| 土曜日の教育活動 | | | | | | | |
| 学校支援地域本部 | コーディネーター | ボランティア毎人数 | 開始年度 | 国庫補助 | 学習支援 | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 |
| 放課後子供教室 | コーディネーター数 | 子供の平均参加人数 | 年間開催日数 | 国庫補助 | 学習支援 | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 |
| | 2人 | 70人 | 287日 | 有 | 無 | 無 | 無 |
| コミュニティスクール | 実施場所 | | | | 開始年度 | 放課後児童クラブとの連携 | |
| | 余裕教室、運動場、体育館 | | | | 8年度 | 一体型 | |
| | 指定日 | | | | 委員数 | 児童生徒数 | 学級数 |
| | | | | | | | |

- 活動の概要・経緯**
- 地域等との連携及びいきいきパートナーによる活動・将棋の指導（パートナー 月2回）・種々の遊び指導（大阪市立大サークル「コノユビトマレ」 月2回）・ハーモニカ指導・絵本読み聞かせ
 - 日常及び季節・学期に応じた活動・壁面飾り（毎月）・節分、おひな様、こいのぼり、七夕、クリスマス（音楽と工作）等の季節行事・めだかの飼育
 - 新たに取り入れた活動・英語で遊ぼう・アフリカの太鼓（ジェンバ）演奏
 - 長期休業中（特に夏休み中）の活動・虫取り・（秋に実施の）作品展の作品作り

特徴

【特徴的な活動内容】

- 「コノユビトマレと遊ぼう」 校区に隣接する大阪市立大学のボランティアサークル「コノユビトマレ」の学生と土曜日に月2回交流。
- 避難訓練 年4回実施。1回目火事、2回目地震・津波、3回目、4回目は歩行困難な児童をおぶつての避難。

【実施に当たっての工夫】

- 「コノユビトマレと遊ぼう」 学生たちには、児童との交流は「いきいき活動」の一環であり、①安全、②「抱っこ」「おんぶ」は禁止、③雨天以外は外遊び、④支援を必要とする児童への配慮等を申し入れた。指導員は、大学生のサークル活動を受入れながら、安全に気配りし、支援を必要とする児童と一緒に活動できるように助け、見守りながら付き添うようにした。
- 避難訓練 避難時間は15分から5分に短縮された。また、3回目、4回目は歩行困難な児童を背負う危険回避のため、おんぶ帯を作り、活動室（2階）から4階まで背負って登ってみた。曜日を変えたり、不審者対策の避難も取り入れたりする予定である。

事業を実施して

放課後や長期休業中、安全な場所での楽しい遊びの体験を通し、その中から友達付き合い・助け合い・集団生活での規律・基本的な生活習慣等を育成することを目標としている。そのために、指導員が幾度も話し合うことにより多くのルールを決め、児童に繰り返し丁寧に指導し続けてきた。活動の反省や問題提起、研修会の伝達研修、支援に関する問題点、保護者からの連絡事項、前日のトラブル等は毎日のミーティングで周知徹底している。また、その補助として、活動全体の「いきいきノート」、〇ちゃんノート（要支援児童）、「服・傘貸出しノート」等を活用し、情報の共有を図っている。

その他

より魅力ある活動とするために、日頃から一人一人の指導員がアンテナを高く張って意欲的に活動のヒントを吸収し、得意分野をより発揮し、研さんを積み重ねてきた。季節の行事に合わせた特別活動は指導員が1か月前から分担準備し、科学実験や作って遊ぶ工作等、多くの児童が楽しんでいる。



コノユビトマレと遊ぼう



避難訓練の様子